

各会派代表者会議

1. 日 時 令和5年7月28日（金） 13：30～ 13：31～14：13
2. 場 所 第2委員会室
3. 出席者 正副議長 赤司議長・辻本副議長
会 派 つくし野（横尾議員）・市民会議（上村議員）
公明党筑紫野市議団（宮崎議員）
事 務 局 荒金局長・大久保課長・栗原係長

4. 議 題

（1）JT跡地について

議長： 7/25に副市長、企画政策部長から「JT跡地を本市の将来のまちづくりに活用できないか検討したい。価格については、まだJTとして売却の方針が出ておらず、価格も示されていないが、公払法の申請の際にはJTが売却価格を設定して交渉を進めることになると思う、民間では100億円はくだらないとの話もあるが、限度額（近隣の公示価格を参考）としては70億円程度が想定される。また、土地利用については現時点で決まったものではなく、購入できれば、その後、議会と市で考えていきたい。」旨の説明を受けたので、今後の動きについて各会派代表の意見を聞きたい。

次回、会派代表者会議にて、市長から直接説明を受けることを求めている。市長が来て説明を受けることで誠意が見えると考えている。各代表の意見を聞きたい。

横尾代表：市長の説明がないので、会派会議もできない。市の意向、金額の面、購入した場合その後どうするのかなどが分からないと会派会議ができない。たたき台を示してもらい必要がある。予算が足りないなら旧庁舎売却なども視野に入れる必要がある。今後のスケジュールがどうなっているかなど説明が必要。

上村代表：購入に100億円必要だが70億円しか用意できないと言っている。差額をどうするのか案が出ないと話もできない。中身がないと会派会議もできない。

議長：あくまでも本日は報告と考えている。改めて市長から報告をしてもらいたい。そのための日程を決めることができるように、本日協議できたらと考えている。執行部も水面下では動いていると思うので、その情報を聞いて議会として調査研究をするなど考えたい。

宮崎代表：JTの解体が進んでいるが固定資産税はどのようになっているか。何を造るかは決まってないが市民には喜ばれるだろう。しかし「だろう」という推測で100億円出すのはまずいと考える。パブコメ等で市民の

意見を聞いたほうがいいのか。

上村代表：水面下で動いているなら、しっかり調査して案を出すべき。旧庁舎解体については予算審査に金額が示されているが、J T跡地については何も情報がない。市長が責任をもって進めていくならば直接説明をするべき。情報共有だけなら不要。

横尾代表：市長から説明をするべき。元々農業試験場がありそれが移転してJ Tが出来たので、その移転の時の経緯を調べてほしい。

議長：市長が会派代表者会議に来て、金額の問題、跡地利用の問題、農業試験場経緯の問題など調査研究の必要がある。それについて調査委員会を立ち上げるなどして、より深めていくのはどうか。

横尾代表：一歩進めるならば特別委員会を作るべき。

上村代表：執行部は、事前準備の中で、ここまでなら買えそうなど当たりを付けて来ている。そういうことも含めて予算審査が必要。また財政状況の確認も必要。税金が上がるかなどの見通しが立っているのか。

議長：市長の思いを受けた後に議会としてどうするべきか大事になってくる。そのため市長の話聞いて、それを受けて各会派で話をさせていただくということでもいいか。

上村代表：市長が来たら各議員に報告できる資料も提出されるのか。それが用意されてないと意味がない。税金を使うのだから目的をはっきりしないとけない。

横尾代表：市長は選挙公約で総合体育館を造ると言っている。

上村代表：思いを伝えて議員を説得しないとけない。

議長：まずは市長の話聞いてみましょう。それで疑義が多いようなら特別委員会なりで調査研究をする必要がある。

横尾代表：特別委員会を作るのは、買うのが前提でどういう利活用をするかを検討するものである。手に入るのが前提となる。

議長：市長としては機運を盛り上げていきたい。そして一緒にやっていきましょうというように感じる。次の会派代表者会議は8/3の16時からとし、市長に説明をしてもらう。本日の会議で出た疑義についても、市長の説明の中に含めて話をしてもらうように伝えてください。

(2) その他